

福岡県飯塚市

バイオトイレの開発や様々なニーズに対応 環境維持に貢献しながら工場の自動化を目指す

2003年に事業開始。電機部、機械部、環境部の3部門からなり、製品の設計からシステム開発まで一貫受注し、主に鉄道、電力、自動車関連の設備を製造。板金や加工技術を活かしたAED収納BOXの製造・販売やバイオトイレ、バイオチップ（微生物資材）の開発・製造にも取組む。常に技術の向上を図りお客様に満足いただける製品を提供し、社会に貢献することを目指している。

●所在地 福岡県飯塚市横田後牟田工業団地

●電話/FAX 0948-22-2651/0948-22-5332

●URL <http://www.itec-system.co.jp/>

●代表者 代表取締役社長 吉田 和彦

●設立 2000年

●資本金 2,000万円

●従業員数 148人



お客様ニーズに対して機械・電機一体でハード・ソフトを提案

工場の人材不足解消のために、ロボット・自動機を使った自動化設備を中心に多方からの依頼を受け、お客様と一緒に新しい技術を検討・導入して機器を納入。機械屋さん、電機屋さん、ソフト屋さん、微生物屋さんが在籍している会社で、産学官と連携した提案等も行っている。今後、さらなる人手も拡大することから、新しいAI技術の導入等で自動化設備による拡充を目指す。



工場内部、転車台（鉄道関係）

技術力と設計から設置までの一貫体制でバイオトイレを開発

自社による設計・製造・設置・保守、独自開発のバイオチップ（微生物資材）を使用した一貫体制で作られている。水を使用しない、汲取の必要がない、バイオチップの交換は年一回程度（使用後は土壌改良材として資源化）等の強みを活かし、山、イベント、災害時、水洗トイレの設置が困難な環境のニーズに答えている。開発は継続しており、簡素化・軽量化・コストダウン等に取り組んでいる。海外では日本よりトイレ事情の悪い国も多く、海外企業との交流会等への積極的参加から商談成立の実績がある。



国内設置事例

多様な働き手が活躍できる職場づくり

女性従業員は約3割を占めており、製造業務の職場でも女性を積極的に採用している。時短勤務等も導入しているほか、本人の希望に応じて、事務職だけではなく製造職にも異動できるようにし、製造ラインで活躍するリーダーも生まれている。他にも、定年後の再雇用や管理職でのシニア人材の雇用にも取り組んでいる。また、海外からの雇用もしている。JICA主催の研修の受入れや海外からのインターンシップの受入れにも積極的に取り組んでいる。



制御盤組立